

平成 17 年度 第 2 回 日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク (PEPNet-Japan)

関係者会議 議事次第

日 時： 平成 17 年 10 月 9 日 (日) 10:00~15:00  
場 所： 筑波技術大学大会議室 (茨城県つくば市天久保 4-3-15)  
議 題： 平成 17 年度事業中間報告  
平成 18 年度事業計画  
事務局報告等

司会：根本 匡文

10:00~10:10 挨拶 PEN-International 代表 James DeCaro 氏

10:10~12:00 平成 17 年度事業中間報告

- ①日本版 Tip シート作成事業
- ②講義保障者養成技術教材作成事業
- ③講義保障システム構築・運営マニュアル作成事業
- ④その他

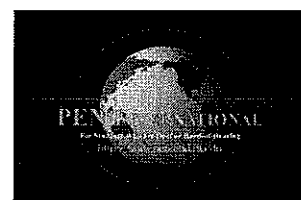
(NTID テクノロジーシンポジウム、SCS 利用研修、NETAC Tip シート  
和訳版、第 2 回聴覚障害学生高等教育支援アメリカ視察報告書、  
特殊教育学会自主シンポジウム、聴覚障害学生支援担当者研修セミナー)

12:00~13:00 <昼 食>

13:00~15:00 平成 18 年度事業計画の検討

- ①PEPNet 全米大会 2006 への参加
- ②アメリカ視察報告会
- ③特殊教育学会自主シンポジウム
- ④第 2 回日本聴覚障害学生高等教育支援シンポジウム
- ⑤科研費申請
- ⑥新事業
- ⑦新規加盟大学の扱いについて

この事業は日本財団の助成により運営されている PEN-International の活動の一部です



参加者名簿：

宮城県・仙台市聴覚障害学生情報保障支援センター 松崎丈  
関東聴覚障害学生サポートセンター 倉谷慶子／吉川あゆみ／阿部めぐみ  
メディア教育開発センター 広瀬洋子／大倉孝昭  
東京大学バリアフリー支援室 (伊藤聡知)  
静岡福祉大学 (太田晴康)／(平井利明)  
群馬大学 金澤貴之  
愛知教育大学 (都築繁幸)／岩田吉生  
日本福祉大学 (大泉溥)／藤井克美  
同志社大学 土橋恵美子  
広島大学 田中芳則  
愛媛大学 (高橋信雄)／原田美藤／苅田知則  
福岡教育大学 (太田富雄) (順不同・敬称略、カッコは欠席)

筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター長 小林庸浩  
筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター支援交流室長 岡本明  
筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター支援交流室聴覚系 WG 代表 根本匡文  
筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター支援交流室聴覚系 WG 三好茂樹  
筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター支援交流室聴覚系 WG 石原保志  
筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター支援交流室聴覚系 WG 河野純大  
筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター支援交流室聴覚系 WG 白澤麻弓

# 日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク

## 日本版TIPシート作成事業

本年度中間報告及び来年度以降の計画

事業代表者 松崎 文

宮城県・仙台市聴覚障害学生情報保障支援センター代表  
宮城教育大学講師

### 1. 背景と目的

TIPシートは、もともとアメリカのPEPNetを構成する4つの地域センターのひとつである北東地区テクニカルアシスタントセンター(NETAC)によって開発された資料です。「ノートテイクって何?」「手話通訳を頼むにはどうすればいいの?」など、聴覚障害学生を支援していくためにはいろいろな知識や情報が必要ですが、TIPシートにはこうした情報がトピックごとに1枚ずつのシートに収められており、これから聴覚障害学生支援を始めようとする教職員や関係者に手軽に配布できる形でまとめられています。

日本でも、このようなTIPシートがあれば、全国各地で初めて聴覚障害学生を受け入れる大学教職員や関係者のニーズにそった情報の発信がより容易になる上に、シートの手軽さから、聴覚障害学生支援に関わる基本的知識の共有を広げていくことができるのではないかと考えて、本年度5月からTIPシートの作成にとりかかりました。

### 2. 活動内容

- ・日本で必要なTIPシートのトピック(テーマ)をいくつか決める。(下記参照)
- ・日本版チップシートのフォーマットを作成する。(資料1 日本版チップシートのフォーマット案)
- ・各TIPシートの全トピックを需要度・緊急性などから考慮して、第1弾、第2弾、第3弾と分け、特定のトピックに関して専門家の人に執筆を依頼する。
- ・原稿の編集レイアウト作業の上、PEPNet-Japanとして発行、PDF化してWeb上での公開を行う。

### 3. 現在の進捗状況

- ・TIPシート(第1弾)の作成の一環として、筑波技術大学の先生方に以下のようなトピックでの執筆依頼をした。

「聴覚障害」	大沼直紀学長	
「聴覚障害幼児・児童・生徒を困む教育環境」	根元匡文先生	10月8日デモ公開対象
「文字による支援方法」	三好茂樹先生	10月8日デモ公開対象
「高等教育における聴覚障害学生支援」	白澤麻弓先生	10月8日デモ公開対象
「日本における高等教育支援の現状」	白澤麻弓先生	
「情報保障」	白澤麻弓先生	

- ・高等教育支援の関係者にTIPシートの存在と役割をPRするために、10月8日のPEPNet-Japanシンポジウムにデモ用のTIPシートを作成した。このTIPシートは、8日当日に配布した通りである。TIPシートの内容・レイアウト等について意見・要望・提案がありましたら、松崎 joemk@staff.miyakyo-u.ac.jp まで連絡をお願いします。

### 4. 本年度後期および来年度以降の計画

- ・今回作成したTIPシートについて評価・フィードバックの調査を行い、TIPシートの作成要項や作成上の役割分担を詳しく決める。
- ・未作成のチップシート群について、需要度・緊急性などの観点から整理して、第2弾、第3弾などに分けて(各弾に4, 5シート分程)作成するよう計画を立てる。  
※1年間に、2, 3弾分のTIPシートを作成するペースで進めていってもよいと思う。

#### TIPシート作成スケジュール案

平成17年10月-12月	第1弾TIPシート作成・発行・Web公開
平成18年1月-4月	第2弾TIPシート編集会議・作成・発行・Web公開
平成18年5月-9月	第3弾TIPシート編集会議・作成・発行・Web公開
平成18年10月-12月	第4弾TIPシート編集会議・作成・発行・Web公開
平成19年1月-4月	第5弾TIPシート編集会議・作成・発行・Web公開

#### ※日本版TIPシートのトピック例

- ①コミュニケーション手段 ②入学時のサポート ③手話・指文字 ④聴覚口話法(読話含む) ⑤補聴器 ⑥人工内耳 ⑦障害認識 ⑧軽度・中等度難聴 ⑨中途失聴障害者 ⑩福祉制度 ⑪聴覚障害学生のエンパワメント ⑫手話通訳 ⑬講義における聴覚補償 ⑭手書きノートテイク ⑮PC通訳 ⑯音声認識 ⑰遠隔地通訳システム ⑱通訳者の健康管理 ⑲講義における教授法・教材研究 ⑳心理的サポート など

# 高等教育支援

○○○○○

○○○○○

○○○○○

○○○○○

○○○○○

発行 日本経済大学学生支援教育推進部 2017-7-7 PEPNet-User

TEL 03-015 2338 代表 2-3-15

〒108-8501 東京都港区赤坂2-3-15

日本経済大学 学生支援教育推進部

Printed and published by the Center for International Education, Japan Economic University, 2-3-15 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 108-8501, Japan. All rights reserved. © 2017 PEPNet-User.

PEPNet-Japan

 日本財団 助成事業

## 高等教育機関に学ぶ聴覚障害学生への支援 - 大学は、教職員は何をなすべきか？ 人的サポート・IT支援・情報技術 -

高等教育における障害者への学習支援は、現在各地の大学で行われはじめており、特に、大学に学ぶ聴覚障害学生への支援については、障害学生支援センターの設置、職員としての手話通訳者の採用、情報技術を活用した支援実践などによって、従来の学生自身の努力によるサポートから、大学の手による積極的な支援へと大きな変貌を遂げつつある大学も増えてきています。

しかしその一方で、聴覚障害学生の受け入れにあたって、教材の準備、教授法、事務連絡等について、教職員が苦勞しながら手探りで支援を行っている大学も少なくありません。

本研修講座では、こうした全国の大学の実態を把握するとともに、まず大学における聴覚障害学生支援のスタンダードとして広がりをもせつつあるノートテイク派遣システムに焦点をあてます。大学での事例から現状と課題を知るとともに、講義で実際に用いられているノートテイクの模擬体験を通して、聴覚障害学生の置かれた状況を学びます。その上で、今後さらなる発展が期待されるITや情報技術を活用した聴覚障害学生支援について、国内外の最先端の実践を元に情報交換を行い、よりきめ細かな支援体制の構築に向けて、大学および教職員がなすべき取り組みについて学びたいと思えます。

### 実施要領

- 主催 独立行政法人 メディア教育開発センター  
国立大学法人 筑波技術大学(現・筑波技術短期大学)  
独立行政法人 日本学生支援機構
- 対象 全国の大学、短期大学、高等専門学校などの高等教育機関において、障害者への学習支援に関係する教職員等
- 定員 50名
- 期日 2005年12月16日(金) 10:00~16:00
- 会場 日本学生支援機構 東京国際交流館プラザ平成 会議室1  
東京都江東区青梅2-79(お台場地区)  
・新交通ゆりかもめ(新橋駅⇄有明駅)で船の科学館駅東口より徒歩約3分  
・りんかい線(新木場駅⇄大崎駅)で東京テレポート駅より徒歩15分
- 参加の申込 2005年12月9日(金) 応募〆切  
※1 誠に勝手ながら、定員になり次第、お申込みの受付を締め切らせていただきますので、お早めにお申込みください。  
※2 お申込み後のキャンセルは E-mail:kensyu@nime.ac.jp にてご連絡ください。
- 参加費 無料
- 連絡・問合せ先 研修講座に関するお問合せについては、  
独立行政法人メディア教育開発センター 普及促進部教育支援課研修部門  
E-mail:kensyu@nime.ac.jp / TEL:043-298-3107・3110

### 日程・研修内容及び講師

日程	研修内容(予定)	講師
<b>2005年12月16日(金)</b>		
10:00~12:00	◆趣旨説明  <午前の部> 「ノートテイクの現場から」  ◆大学におけるノートテイク派遣システム構築事例  ◆聴覚障害学生の置かれた状況 -ノートテイク体験-	広瀬洋子 NIME 助教授  司会:長南靖 日本学生支援機構  太田晴康 静岡福祉大学助教授  松崎文 宮城県・仙台市聴覚障害学生情報保障支援センター代表
12:00~13:00	昼食	
13:00~15:00	<午後の部> 「情報機器を用いた聴覚障害学生支援」  ◆遠隔地情報保障システム  ◆音声認識技術を用いた講義保障のあり方  ◆同時同期型自動字幕システム	司会:根本匡文 筑波技術大学  内藤一郎 筑波技術大学助教授 三好茂樹 筑波技術大学助教授  金澤貞之 群馬大学助教授  大倉孝昭 大谷女子大学教授
15:15~15:45	◆高等教育機関に学ぶ聴覚障害学生への支援 -大学は、教職員は何をなすべきか？-	白澤麻弓 筑波技術大学助手
15:45~16:00	◆まとめ	広瀬洋子 NIME 教授



#### IV. 予算案

##### <収入の部>

PEN-International 本部より	¥5,300,000
筑波技術大学より※	¥400,000
科学研究費※※	¥900,000
合計	¥6,600,000

##### <支出の部>

項目	予算 (円)	摘要 (円)	
会議費 (交通費・通訳費)	¥1,900,000	第1回関係者会議 (日本財団)	¥400,000
		第2回関係者会議 ( )	¥500,000
		第3回関係者会議 (日本財団)	¥400,000
		事務局会議※ (日本財団)	¥600,000
事業費 (交通費・通訳費・印刷費)	¥3,600,000	Tipシート作成事業	¥300,000
		講義保障者養成技術教材作成事業	¥900,000
		講義保障システム構築・運営マニュアル作成事業	¥900,000
		新規事業※※	¥900,000
		聴覚障害学生高等教育支援シンポジウム	¥500,000
		アメリカ視察報告会	¥100,000
事務費 (印刷費・消耗品)	¥300,000		
人件費 (事務局補佐)	¥700,000	@799円×5時間×週4回	
雑費	¥100,000		
合計	¥6,600,000		

この他、連携大学・機関の共同研究による科学研究費の申請、GPへの応募、概算要求等を通して公的資金の獲得を図る。

この事業は日本財団の助成によるPEN-Internationalの活動の一部です

## PEPNet 全米大会 2006 への参加について

PEN-International 本部より、PEPNet-Japan 事務局宛に来年 4 月に開催される PEPNet 全米大会 2006（於：アメリカ合衆国ケンタッキー州）に、PEPNet-Japan 連携大学・機関の皆様を招待いただけるとの連絡が入りました。この大会は、アメリカの PEPNet が隔年で開催しているもので、全米各地の大学における障害学生支援コーディネーターや通訳者、聴覚障害者、聴覚障害教育関係者が集まり、高等教育現場における聴覚障害学生支援の方法について討議をするものです。昨年度の大会では、4 日間で述べ 80 件近い口頭発表やワークショップ・講演などに加え、機器展示などを含むポスターセッションが行われていました。

PEN-International 本部では、これまで各国数名ずつをこの大会に招待し、FD を兼ねた研修プログラムを実施していましたが、来年の大会ではこの枠をすべて日本からの招待に使いたいとの連絡をいただきました。そのため、当大会での PEPNet-Japan の成果報告を兼ねて、ぜひ連携大学・機関の皆さんとともにこの会議に参加したいと思っております。

つきましては、下記の通り全米大会への参加希望者を募集いたしますので、ふるってご応募いただきますようお願いいたします。

### 記

渡航先 : アメリカ合衆国ケンタッキー州ルイヴィル (Louisville) 市

日程 : 2006 年 4 月 5 日(水)~8 日(土)を含む 1 週間程度

人数 : 8 名 (本学 2 名、連携大学・機関 6 名、通訳者は別途手配)

情報保障 : 現地にて日本語-英語音声通訳者を手配

聴覚障害者の参加がある場合には日本語-日本手話通訳者が同行

応募条件 : 連携大学・機関の教職員で聴覚障害学生支援に関わりのある方。もしくは大学院生で聴覚障害学生支援に関して専門的に研究をしている方。その他、PEPNet-Japan 事務局が特別に推薦した方。

ただし、応募人数が定員を超過した場合には、これまでに PEPNet-Japan が企画した視察旅行に参加した経験のない大学・機関の方を優先させていただきます。また、企画の特性上、できる限り 2 名程度の聴覚障害当事者に参加いただけるよう調整したいと思いますので、どうぞご理解のほどお願いいたします。

応募方法 : 参加を希望される方の氏名と所属を記入の上、E-mail にて白澤 (shirasawa@  
a.tsukuba-tech.ac.jp) までご連絡下さい。

応募締切 : 2005 年 10 月末日

決定通知 : 上記の条件にもとづいて PEPNet-Japan 事務局で協議し、11 月中旬頃までに通知いたします。

※PEPNet 全米大会 2006 については、下記の HP をご覧下さい。

[http://www.pepnet.org/confer\\_biennial.asp](http://www.pepnet.org/confer_biennial.asp)